

【 報 告 2 】

下関市地域公共交通計画の進捗管理について

下関市地域公共交通計画 評価指標及びモニタリング指標

評価指標		基準値 (R5)	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	目標値 (R11)
1	市民のバス利用率	9.4%	9.2%	9.3%					10.2%
	市民の鉄道利用率	8.5%	9.0%	9.2%					9.2%
2	コミュニティ交通オンデマンド路線数	5路線	5路線	5路線					5路線
3	地域公共交通の利用者数 (年間)	24,245千人	24,202千人	24,147千人					現状維持
4	地域公共交通の収支差	△ 1,126百万円	△ 1,131百万円	△ 1,145百万円					1%改善
5	公的資金投入額 (市民1人当たりの市の財政負担額)	1,490円	1,580円	1,630円					1,620円

モニタリング指標		基準値 (R5)	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	目標値 (R11)
地域公共交通のカバー率			78.7%	78.7%					
キャッシュレス決済の導入件数・導入率			70.7%	76.9%					
観光客数 (入込観光客数、宿泊者数等)			約586万人	約587万人					
利用者・住民等の地域公共交通に対する満足度			18.5%	17.4%					

地域公共交通計画 目標達成に向けた施策の取組み

基本方針	施策群	取組施策	令和7年度の実施内容	令和8年度の実施予定内容
[1] まちづくりと 連動した持 続可能な公 共交通ネッ トワークの構築	1)コンパクト プラスネッ トワークの まちづくり を支える公 共交通体系 の再構築	① 公共交通ネット ワークの再構築	・(サンデン交通)令和7年10月再編で内日線、員光線 廃止 ・(都市計画課)令和7年10月から内日線、員光線の実証運行開始 ・(豊北地域政策課)令和8年3月のJRのダイヤ改正に伴うブルーライン交通とのダイヤ調整協議を実施	・(サンデン交通)路線の新設・系統の見直しを検討 ・(都市計画課)継続して内日線、員光線の実証運行を実施 ・(ブルーライン交通)令和8年10月より土日祝ダイヤを検討・実施 ・(豊北地域政策課)令和9年3月のJRのダイヤ改正に伴うブルーライン交通とのダイヤ調整協議を実施
		② 地域拠点と最 寄り駅までのアクセ ス確保	・(サンデン交通)可能な限り確保を図る	・(サンデン交通)可能な限り確保を図る
		③ 中心市街地等 における循環バス 導入の検討	・(サンデン交通)新下関西部循環線を継続して実施 ・(ブルーライン交通)蒲田・松谷・豊浦病院循環線を継続して実施	・(サンデン交通)新下関西部循環線を継続して実施 ・(ブルーライン交通)継続して実施
		④ 駅を中心とした まちづくりによる公 共交通の再編	・(都市計画課)再編について検討	・(都市計画課)継続して検討
	2)交通結 節点におけ る利便性の 強化	① 乗り継ぎ環境 の向上(結節点機能 の強化)	・(サンデン交通)継続して検討	・(サンデン交通)継続して検討
		② 鉄道駅におけ るバリアフリー化	・(JR西日本)みどりの券売機のUI(誰でもご利用になりやすいユニバーサル表記)表示の変更を実施	・(JR西日本)利用状況に応じ、みどりの券売機の改良を継続
[2] 地域公共 交通のリ・ デザインに よる公共交 通サービスの アップ デート	1)既存の 地域公共 交通体系 のアップ デート	① 生活バス路線 の再編・維持	・(都市計画課・豊田地域政策課)令和7年10月から豊田地区生活バスのAIオンデマンド・貨客混載実証運行を実施 ・(菊川地域政策課)8人乗り車両1台導入 生活バス路線の維持を継続 ・(豊北地域政策課)JRのダイヤ改正に合わせ、既存路線の運行ダイヤの利便性の向上を図るための改正を検討 利用促進のための時刻表の作成、配布の実施	・(都市計画課・豊田地域政策課)AIオンデマンド・貨客混載実証運行を継続 ・(菊川地域政策課)継続して検討 ・(豊北地域政策課)JRのダイヤ改正に伴い、JRと生活バスの接続を考慮したダイヤ改正を行うとともに、効率的な運行について検討
		② タクシーの利用 環境改善	・(タクシー協会)しもまちBABYタクシーアプリによる配車の継続、どこでもおでかけクーポン券による利用促進や、様々なニーズへの対応(子供の塾への送迎、お墓参りサポート等)によるサービス向上	・(タクシー協会)継続して実施
		③ 外出支援サー ビス等の継続	・(長寿支援課)菊川、豊田、豊浦、豊北区域にて、対象者の個別輸送を実施	・(長寿支援課)継続して実施
		④ 離島航路の運 航	・(港湾局経営課)「竹崎～六連島」間、「吉見～蓋井島」間をそれぞれ結ぶ市営渡船を運航	・(港湾局経営課)継続して実施
	2)地域公 共交通の リ・デザ イン	① 新たな地域コ ミュニティ交通の 導入検討	・(都市計画課)継続して検討	・(都市計画課)継続して検討
		② 新技術・ディ ジタル技術の活 用	・(サンデン交通)サンデン1dayパス24時間券(デジタルチケット)開始 ・(都市計画課)令和7年10月から豊田地区生活バスのAIオンデマンド実証運行を実施	・(サンデン交通)引き続き実施、検討 ・(都市計画課)実証運行を継続
	3)メリハリ のある公 共交通の 運用・支 援	① 需要に応じた 車両の選択(小型 化)	・(サンデン交通)特定の路線(四王司線・勝谷団地線)で実施 ・(都市計画課)生活バスへ小型車両の導入	・(サンデン交通)引き続き運行を図る ・(都市計画課)利用状況や路線(道路幅)を踏まえ検討
		② 運転手等担い 手不足への対応	・(サンデン交通)運転体験会・就労説明会などの取組を実施 ・(都市計画課)運転士確保に向けた補助の実施(第二種免許取得への補助、運転士就労支援金)	・(サンデン交通)運転体験会・就労説明会など取組 ・(都市計画課)継続して実施
	4)バス走 行環境の 改善	① バス専用・優先 レーンの順守	・運用されているバス専用/優先レーンを遵守	・継続して実施

地域公共交通計画 目標達成に向けた施策の取組み

基本方針	施策群	取組施策	令和7年度の実施内容	令和8年度の実施予定内容
[2] 地域公共交通の デザインによる公共 交通サービスの アップデート	5) 利用しやすい・わかりやすい公共交通の利用環境	① ノンステップバスの導入促進	・(サンデン交通)8台導入(導入率100.0%) ・(ブルーライン交通)(導入率58.3%)	・(サンデン交通)継続して導入 ・(ブルーライン交通)導入
		② 情報提供による利便性の向上	・(サンデン交通)バスロケーションシステムにて情報を提供 デジタルサイネージ等、継続して情報を提供、HP・SNS等による情報提供を強化 トータルナビ事業者と連携し、Googleマップでの路線時刻案内等を継続 バス時刻検索アプリの運用を継続 ・(ブルーライン交通)トータルナビ事業者と連携し、Googleマップでの路線時刻案内等を継続 ・(都市計画課)まちナビShimonosekiを継続して運用 繁忙期におけるデジタルサイネージを活用した情報発信を実施 市のホームページにおいて公共交通に関する情報の掲載や、広報戦略課等のSNSを活用して周知を実施	・(サンデン交通)継続して情報を提供 デジタルサイネージは機器の故障が多いため、今後の運用について検討 ・(ブルーライン交通)継続して実施 ・(都市計画課)新たに駐車場を追加し、まちナビShimonosekiを継続して運用
		③ バス停の待合環境整備拡大	・(サンデン交通・ブルーライン交通・都市計画課)継続して検討	・(サンデン交通・ブルーライン交通・都市計画課)継続して検討
		④ わかりやすい運賃体系の構築	・(サンデン交通)エリアフリー定期券(一般、学生、高齢者)を継続して実施 ニモカカードによる小学生50円バスのポイントバックを開始 令和7年8月23日運賃改定実施	・(サンデン交通)エリアフリー定期券、サンデン1dayバスなど拡充を図る
		⑤ バスのフリー乗降制度の導入検討	・(サンデン交通・ブルーライン交通・都市計画課)継続して検討	・(サンデン交通・ブルーライン交通・都市計画課)継続して検討
		⑥ バスのキャッシュレス決済導入による利便性向上と運営の効率化	・(サンデン交通)ICカード決済を継続して運用 ICカード利用率76.9% ・(ブルーライン交通)令和8年2月よりキャッシュレス決済を導入(クレジットカード、QRコード、電子マネー)	・(サンデン交通)ICカード決済を継続して運用 下関～福岡線 高速バス「ふくふく号」にクレジット決済導入を検討 ・(ブルーライン交通)継続して実施
		⑦ 貨客混載のバス運行の導入検討	・(菊川地域政策課)継続して実施 ・(豊田地域政策課)令和7年10月より実証運行により実施	・(菊川地域政策課)継続して実施 ・(豊田地域政策課)引き続き実証運行により実施
	6) まちのにぎわい創出	① サイクルトレインによる利便性向上の継続	・(JR西日本・都市計画課)令和7年11月に下関～長門市駅間において、団体臨時列車を使ったサイクルトレインを実施	・(JR西日本・都市計画課)令和8年5月に小串(滝部)～長門市駅間で一般列車を使った実証サイクルトレインを実施、引き続き一般列車でのサイクルトレイン実証実験の実施
[3] 共創によって みんなで支える公共 交通の実現	1) 多様な分野との連携促進	① 多様な関係者による共創(連携・協働)	・(学校教育課)遠距離通学児童生徒のために、スクールバスを運行	・(学校教育課)継続して実施
		② JR 山陰本線を活用した利用促進の継続	・(JR西日本)地域の交通安全イベントへの参加や地元団体と共同開催するイベントに参加 ・(JR西日本・都市計画課)山陰線利用促進協議会の事業の実施「シンポジウムの開催」「団体利用補助」等 ・(観光政策課)令和7年9月27日の山陰本線全線復旧記念イベントにて観光ブース出展 運転を再開した「〇〇のはなし」車内にておもてなしを計20回実施 その他、観光展の出展等によるPR(令和7年度実績:10月・2月 計2回)で利用促進を図っている	・(JR西日本)山口DCと連携した企画列車や観光列車「〇〇のはなし」、「オーブントップバス」といったコンテンツにより、地域の魅力発信や鉄道利用促進を図る 地域の交通安全イベントへの参加や地元団体と共同開催するイベントを継続 ・(JR西日本・都市計画課)山陰本線利用促進協議会による利用促進活動を継続して実施 ・(観光政策課)山口DC本キャンペーンに向けて、イベント出展などにより観光列車「〇〇のはなし」のPR活動を行うと共に、観光列車車内でのおもてなしを実施することで、情報発信を継続 観光列車と連動したコンテンツを提供することでさらなる利用促進を図る
		③ 割引切符や企画切符の継続	・(サンデン交通)企画きっぷ「ALL KYUSHYU PASS」や「SUNQパス」、「Yamaguchi Bus Pass」等の企画切符の周知 ・(ブルーライン交通)「SUNQパス」や「Yamaguchi Bus Pass」「tabiwa」等の企画切符の周知 ・(観光政策課)観光客に配布を行う「下関市観光ガイドブック」及び各種パンフレット、関係団体のホームページ等で情報を継続して掲載	・(サンデン交通)継続して実施 ・(ブルーライン交通)継続して実施 ・(観光政策課)継続して実施

地域公共交通計画 目標達成に向けた施策の取組み

基本方針	施策群	取組施策	令和7年度の実施内容	令和8年度の実施予定内容
[3] 共創によってみんなが支える公共交通の実現	1) 多様な分野との連携促進	④ 観光しやすい移動手段の確保	・(サンデン交通)同上 ・(観光政策課)継続してしものせき観光キャンペーン実行委員会にて、角島大橋や道の駅北浦街道豊北等を周遊する絶景バスツアーを実施 山口DCのイベントとして産業観光バスツアー「大人の社会派ツアー」を実施	・(サンデン交通)同上 ・(観光政策課)継続してしものせき観光キャンペーン実行委員会にて、角島大橋や道の駅北浦街道豊北等を周遊する絶景バスツアーを実施 山口DC本番のイベントとして産業観光バスツアー「大人の社会派ツアー」を実施
	2) 利用しやすい公共交通サービスの推進	① 公共交通への転換の推進	・(都市計画課)キス&ライドは、各駅における送迎スペースを利用 サイクル&レールライドについて、鉄道駅周辺に整備された駐輪場により継続して実施	・(都市計画課)継続して実施
	3) 公共交通の利用促進	① 公共交通利用促進策の実施	・(サンデン交通)夏、冬、春休みに小学生50円バスの実施 夏休みの土日祝に中学生100円バスを実施 夏休みに小学生限定フリー定期「SAN☆SUNバス」実施 高齢者フリー定期券の免許返納割引を実施 ・(ブルーライン交通)夏、冬、春休みに小学生50円バスを実施 高齢者フリー定期券の免許返納割引を実施 ・(都市計画課)生活バス1コイン化を継続的に実施 ・(長寿支援課)毎週火曜日、70歳以上の高齢者を対象として、公共交通機関(サンデン交通、ブルーライン交通、市渡船)を1乗車100円で利用できるいきいきシルバー100を継続して実施 ・(障害者支援課)障害者福祉タクシーとして、対象者のタクシー料金の一部助成を実施 ・(こども家庭支援課)ひとり親家庭のJRの通勤定期乗車券割引制度として、対象の世帯に対し、通勤定期に関して3割引を実施 ・(介護保険課)六連島、蓋井島に居住する要介護者等が介護サービスを利用する際に負担する渡船運賃の助成を実施通所サービスは利用者本人の渡船運賃の半額、訪問サービスサービスを提供する事業者の渡船運賃の全額を助成	・(サンデン交通) ・(ブルーライン交通) ・(都市計画課) ・(長寿支援課) ・(障害者支援課) ・(こども家庭支援課) ・(介護保険課)
		② 交通安全教育等の実施	・(下関警察署)横断歩道の事故防止、横断歩道の歩行者優先、自転車のヘルメット着用等に関するイベント、キャンペーンを実施 ・(生活安全課)主に幼児や小学生を対象に交通安全や自転車利用時のルールについての指導を実施	・(下関警察署)横断歩道の歩行者優先、自転車の交通違反に対する交通反則通告制度の導入、生活道路における法定速度引き下げに関するイベント、キャンペーンを実施予定 ・(生活安全課)継続して実施
		③ モビリティ・マネジメントの実施	・(JR西日本)地域における交通安全に関するイベントで踏切や車内・ホーム非常ボタンの啓発を実施 下関市が年4回主催するイベントを地元団体と共同で開催 小学校の生徒による駅見学や中学校の職場体験の受け入れを実施 ・(サンデン交通)イベントや要望で体験授業など乗り方教室を実施 グルメイベントにてニモカカードPR 小学生お仕事体験やバス乗り方教室の実施 ・(ブルーライン交通)小学生を対象に乗り方教室を実施	・(JR西日本)地域の交通安全イベント参加や地元団体と共同で開催するイベントを継続 駅見学や職場体験学習の受け入れを継続 ・(サンデン交通)継続して実施 ・(ブルーライン交通)継続して実施
	4) 環境負荷を低減する取組の推進	① 環境配慮型車両・設備等の導入	・(サンデン交通)低公害車仕様のノンステップバス2台導入 ・(ブルーライン交通)導入について、継続して検討	・(サンデン交通)継続して導入 ・(ブルーライン交通)継続して検討
	5) 市民の公共交通へのニーズ把握	① 市民へのアンケート等の実施	・(企画課)毎年実施している市民実態調査において「現状の公共交通の満足度」を調査 ・(菊川地域政策課)継続して実施 ・(豊浦地域政策課)まちづくり協議会を通じて、地域のバス路線、運行に関する要望等を聞き取り	・(企画課)継続して実施 ・(菊川地域政策課)継続して実施。 ・(豊浦地域政策課)まちづくり協議会を通じて、地域のバス路線、運行に関する要望等を聞き取り